登録コード	MA002802	開講年度	2026

授業科目名	遺伝カウンセリング実習III					担当教員	古庄　知己
英文授業名	Genetic Counseling: Practice (3)					副担当	髙野　亨子・中村　勝哉
単位数	1	講義期間	不定期	曜日・時限	・不定期	対象専攻／学年	
講義室				授業形態	実習	授業科目区分	
信大コンピテンシー	該当						

(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	
	ＭＳ２６カリ(医科学)・医科，ＭＳ２５カリ(医科学)・医科，ＭＳ２４カリ(医科学)・医科，ＭＳ２３カリ(医科学)・医科		
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。	⇔	遺伝性腫瘍領域の遺伝カウンセリング外来実習を通じて、遺伝医学の基礎的・臨床的知識および技術を身につけ、応用できるようにする。

(2)授業の概要	・遺伝カウンセリング外来実習(陪席とフィードバック)
(3)達成目標（一般学習目標ＧＩＯ）	・信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センターでの外来実習を通じて、遺伝性腫瘍域の遺伝カウンセリングの基本を学ぶ。
(4)達成目標（個別行動目標ＳＢＯｓ）	・信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センターでの外来実習（陪席、フィードバック）を通じて、遺伝性腫瘍領域の遺伝カウンセリングの実践における重要事項（情報収集、カウンセリングスキル、遺伝学的検査、心理社会的支援、フォローアップ等）を理解する。
(5)授業計画	・信州大学医学部附属病院における遺伝カウンセリング外来における陪席実習、認定遺伝カウンセラーによるフィードバ ックを含む(実習:合計30時間)
(6)授業の進め方	・実習
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	担当教員（神谷素子先生も担当）より指示
(8)成績評価の方法	１）事前学習課題（ファクトシート）（25%） ２）陪席実習態度（25%） ３）陪席実習記録（25%） ４）ログブック記載(25%)
(9)成績評価の基準	・(8)において、3)は陪席した最初の50症例以上で完成、かつ、4)は陪席した全症例において完成していることを単位取得の条件とする。 レポート：(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており， (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それ らの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており， (v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしてい れば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある (良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	古庄 知己 他 遺伝医学教室(内線5207)
【テキスト，教材，参考書】	【教科書】 ・遺伝カウンセリング標準テキスト、認定遺伝カウンセラー制度委員会監修、診断と治療社 【参考書】 ・遺伝カウンセリングマニュアル、福嶋義光監修、櫻井晃洋編集、南江堂 ・コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート、日本人類遺伝学会編集、診断と治療社 ・臨床遺伝専門医テキスト1 臨床遺伝学総論、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治 療社 ・臨床遺伝専門医テキスト2 各論I 臨床遺伝学生殖・周産期領域、臨床遺伝専門医制度委 員会監修、診断と治療社 ・臨床遺伝専門医テキスト3 各論II 臨床遺伝学小児領域、臨床遺伝専門医制度委員会監 修、診断と治療社 ・臨床遺伝専門医テキスト4 各論III 臨床遺伝学成人領域、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 ・臨床遺伝専門医テキスト5 各論IV 臨床遺伝学腫瘍領域、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 有用なサイト GeneReviews(https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK1116/) GeneReviews Japan(http://grj.umin.jp)